

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	29	学校名	不破高等学校
------	----	-----	--------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	地域と連携した教育を実践する伝統ある高校として 一人一人の良さや可能性と主体性を大切にすきめ細かな教育活動を通して 地域社会の創り手の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	歴史と伝統を誇る学校として、校訓「あかるく、さとく、たくましく」を旨とし、「知・徳・体」の調和のとれた人格の形成を図るとともに、生徒一人一人の個性的で多様な進路の実現を図る。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な学力を身に付け、主体的に課題解決に取り組む生徒</li> <li>基本的生活習慣を身に付け、自分と多様な人々の生命の安全と互いの人権を尊重し、規律を守る生徒</li> <li>自分に適した進路目標を見つけ、進路実現のための学力とコミュニケーション能力を身に付けた生徒</li> </ul>	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な内容の定着を図るための「学び直し」を実践するとともに、具体的な到達目標の設定と指導内容の重点化を推進</li> <li>保護者との連携を図りながら共感的な生徒理解に努め、ユニバーサルデザイン（不破高スタイル）を基礎とした段階的な支援（New不破高スタイル）を実践</li> <li>単位制のメリットを活用した教育課程を編成し、進路希望に即した科目選択を充実させ、自己適性的確かな理解に基づく進路目標を実現</li> </ul>	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動にコツコツ取り組む生徒</li> <li>部活動や生徒会活動、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲のある生徒</li> <li>学校生活に真摯に取り組む、進路実現を目指そうとする生徒</li> </ul>	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な学力の定着に個人差が見られ、学び直しを含めたきめ細かな指導と、学習意欲を高める取組の充実が求められている。</li> <li>生徒が自ら活動を選択し主体的に取り組む力を育成するとともに、他者と協働しながら円滑に活動を進める力の向上が課題である。</li> <li>自他を尊重し、安心して学校生活を送るために必要な規範意識やコミュニケーション力の育成を一層推進する必要がある。</li> </ul>		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学校経営	生徒の主体的な学びを核とした教育活動を推進し、地域との連携・協働を通して学びの質を高めるとともに、教職員が安心して力を発揮できる持続可能な教育体制の構築を図る。	
	学習指導	きめ細かな学習指導を通して基礎・基本の確実な定着を図るとともに、主体的に学ぶ態度の育成を推進する。	
	進路指導	地域や関係機関との連携を生かした学びを通して、自らのキャリア形成に自信を持ち、主体的に社会に参画・貢献できる資質・能力を育成する。	
	生徒指導	共感的に「認める」生徒指導を基盤として、基本的生活習慣の確立を図り、自己指導力と規範意識の育成に努める。	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	校務の精選や会議の効率化を進め、勤務時間の適正な把握と業務の平準化により、教職員の負担軽減と健康確保を図る。		

領域 分野	年度目標			年度末評価(自己評価)			
	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	「不破ウィーク」の実践を通して、生徒が自ら活動を選択・実践し、活動後の振り返りを促すことで主体的に学ぶ力を育むとともに、自己有用感の向上を図る。	施策Ⅰ-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の参加率80%以上</li> <li>生徒アンケートの肯定的回答80%以上</li> </ul>				
	中学校や地域との連携を強化し、出前授業や学校紹介の機会を通して本校の教育活動を積極的に発信し、地域からの理解と信頼の向上を図る。	施策Ⅳ-20	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前授業の実施3校</li> <li>中学生アンケート</li> </ul>				
	教職員の指導力の向上を目指し、教職員が学び合える機会を確保するとともに、教職員が主体的に研修しやすい体制を整備する。	施策Ⅳ-26	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員1人あたり年間1回以上の研修受講</li> </ul>				
学習指導	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、生徒一人一人の理解に応じて、ねらいを明確にした丁寧な指導を行う。	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケート「授業のわかりやすさ」の肯定的回答80%以上</li> </ul>				
	少人数の利点を生かし、ICTを適切に活用しながら、生徒が学ぶ楽しさや理解の深まりを実感できる授業づくりを進める。	施策Ⅱ-9	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケート「ICT活用」の肯定的回答80%以上</li> </ul>				
	不断の授業改善に努め、生徒一人一人の良さや可能性を伸ばし、主体性を育む学習活動を充実させる。	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒アンケート「主体性」の肯定的回答70%以上</li> </ul>				
進路指導	進路実現後の社会生活にも生かせるよう、コミュニケーション能力や汎用的な学力を育成し、基礎となるキャリア形成力を高める。	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試対策講座、面接練習等の計画的な実施</li> </ul>				
	探究活動等の成果を外部に発信する機会を設け、外部の人からの意見や刺激を通して生徒の進路の視野を広げる。	施策Ⅰ-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外の発表会やコンクールへの参加2組以上</li> </ul>				
	地域共創の活動を行い、社会と関わる経験を通して社会貢献の重要性を理解し、キャリア形成への意識を高める。	施策Ⅱ-13	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との連携活動前年度比20%以上増加</li> </ul>				
生徒指導	保護者との連携を密にし、全職員が共通理解のもとで一貫した指導を行い、身だしなみ・遅刻・欠席・授業規律など学校生活における規範意識の向上を図る。	施策Ⅰ-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻・欠席の件数前年度比10%減少</li> </ul>				
	信頼と愛情に基づく共感的な生徒理解に努め、予防的・共感的な教育相談を推進し、いじめや不登校に対して迅速かつ組織的に対応する。	施策Ⅰ-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な観察・声かけ・教育相談の実施</li> </ul>				
	学校・保護者・地域が連携して取り組む体制を整え、生徒の社会参加活動を支援する。	施策Ⅰ-7	<ul style="list-style-type: none"> <li>MSリーダーズ活動 月1回以上実施</li> </ul>				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和9年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和9年 月 日